

船舶事故等調査報告書

平成21年12月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009長第121号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年8月9日 11時00分ごろ	
発生場所	長崎県大村市 長崎空港飛行場灯台から真方位012°4,500m付近（概位 北緯32°56.85′ 東経129°55.65′）	
事故等調査の経過	平成21年10月7日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 砂利採取運搬船 ^{りゅうぎょく} 龍玉丸、1,580トン 船舶番号、船舶所有者等 133064、株式会社丸道興産	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	推進器翼に曲損及び擦過傷	
事故等の概要	<p>本船は、船長ほか4人が乗船し、砂約900m³を積載し、船首約4.40m、船尾約4.80mの喫水で、長崎県大村港（富ノ原地区）へ向けて水路を入航中、水路より右舷側に流され、平成21年8月9日11時00分ごろ、推進器が海底に接触した。</p> <p>本船は、接岸後、船底タンクなどを調査したが特に損傷はなく、揚荷後、推進器翼に曲損と擦過傷を発見した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 南南西、風力 3</p> <p>海象：潮汐 上げ潮中央期、約0.2ノットの南流、波高 約0.5m</p>	
分析	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	なし
	気象・海象の関与	あり
	判明した事項の解析	本船は、大村港（富ノ原地区）へ向けて水路を入航中、風潮流の影響を考慮した操船を適切に行わなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が大村港（富ノ原地区）へ向けて水路を入航中、風潮流の影響を考慮した操船を適切に行わなかったため、乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	